

平成 23 年度 第 3 回経営協議会議事録

日 時 平成 23 年 11 月 28 日（金） 14 時 30 分～ 16 時 27 分

場 所 事務局大会議室

出席者 石川、石村、伊藤、北原、杉田、
伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山の各委員

欠席者 草間、川勝、松井の各委員

陪席者 大戸監事、塩田監事
村井、木村の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成 23 年度第 2 回経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 重要財産の譲渡について

山崎委員から、①浜松艇庫敷地②藤枝宿舍及び藤枝フィールド敷地の重要財産の譲渡について、資料 1 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

（意見交換で出された主な意見等）

〔⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等〕

⊕：艇庫の整備等の経費について、移転補償費の範囲内で可能なのか。

△：移転補償費を超過した場合は、本学の経費を持ち出して整備する。

⊕：移転補償費の算定方法はどのようなものか。

△：自治体の算出根拠に基づき算出される。

⊕：艇庫代替地は、佐鳴湖に面していないように思えるが搬出入に支障はないか。

△：代替地に隣接した水路を利用して搬出入するため支障はない。

⊕：譲渡代金等は、課税対象となるか。

△：法人税は非課税である。

⊕：千代田宿舍及び鷹匠荘の進捗状況について伺いたい。

△：千代田宿舍については、入札の準備中であり、鷹匠荘については、境界確定のために測量中である。

2 中期計画及び平成 23 年度計画の変更について

山崎委員及び浅利委員から、重要財産の譲渡に伴う中期計画の変更及び東日本大震災による被災支援のため第 3 次補正予算成立に伴う平成 23 年度計画の変更について、資料 2 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(意見交換で出された主な意見等)

[⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等]

⊕：被災学生への経済的支援は、1,400万円手当されているが、これ以外に大学負担分はあるか。

△：大学負担分は600万円である。

⊕：大学は、平成24年度新生も含め被災学生の経済的支援を実施する予定か。

△：平成24年度についても、継続して経済的支援を実施する予定である。

Ⅲ 報告事項

1 静岡大学における教育研究等の状況について

(1) 共同大学院設置及び人文学部名称変更等について

(2) 平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果について

(3) 日本再生シンポジウムについて

上記事項について、議長及び担当委員から、資料3によりそれぞれ報告があった。

(意見交換で出された主な意見等)

[⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等]

(1) 共同大学院設置及び人文学部名称変更等について

⊕：共同大学院設置については、教育委員会等関係機関に、PRを兼ねた情報提供に努めていただきたい。

△：積極的にPRしていきたい。

⊕：共同大学院では、実践的かつアカデミックな教育を実施していただきたい。

(3) 日本再生シンポジウムについて

⊕：国大協が主体的に実施するのは画期的なことであり、国大協の機能強化にもつながる。

⊕：平成23年度防災・日本再生シンポジウムはどのような人が対象者か。受講者のターゲットを明確にした方が良いのではないか。

△：広く一般の方々を対象としたが、自治体職員等の参加もあった。別途、より専門的な講座として、自治体職員や防災意識の高い人向けの「ふじのくに防災講座」や「ふじのくに防災フェロー養成講座」等を開講している。

Ⅳ その他

1 「財務レポート2011」について

財務施設部長から、席上配付資料「財務レポート2011」により、2011年の財務状況報告があった。

2 その他

(1) 石井委員から、新聞報道等のあった教員免許状申請事務について、資料

- 4により詳細及び経緯の説明があった。
- (2) 山崎委員から、国会で審議中の公務員の給与改訂の概要について、資料5により説明があり、意見交換を行った。

以 上